

年頭にあたって

小平町長 関 次 雄



新年あけましておめでとうございます。

平成24年の新春を町民の皆様とともに迎えることができましたことを心からお喜び申し上げます。

また、町行政の推進に深いご理解とご協力を頂いておりますことに深く感謝申し上げます。

私は、一昨年の就任以降、民間出身の観点から、役場の機構改革、高齢者のサポート対策、現場を確認しての各種事業の実施を行なうてまいりましたが、小平町の町づくりを推進するために行わなければならないことは山積しております。

さて、昨年を顧みますと3月の未曾有の大震災は、国民に多くの教訓を残し、我が国の経済に大打撃を与えつつ、復興に多くの年月を費やさなければならぬこととなりました。大震災の現状を踏まえ、日本海沿岸に位置する当町の防災対策も充分とは言えないことから、住民皆様方からの意見を伺い、各地区の実態に

沿った安心して暮らせる防災対策を充実しなければならないと感じているところであります。

また、国が決定したTPPへの協議開始は、基幹産業が農漁業である当町にとって今後の町づくりを左右する重要課題であることから、今後の動向を常に把握し即効性のある対策を行う必要があります。

新年早々には、来年度の予算編成作業を行うこととなりますが、私の町政運営の基本理念であります「目くばり・気くばり・思いやり」を忘れず、産業振興対策はもちろんのこと、生活環境の整備、観光施設の再構築等を行い、さらには住民サービスのため、職員の一層の資質向上を図り執行体制を充実してまいります。

年頭にあたり、本年が平穏で明るい希望のある年であるとともに、町民皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。